

奄美の力。

喜界島の皆さまとともに、 とことん地方創生!



衆議院議員
やすおか宏武

保岡宏武衆議院議員は、奄美地方を含む自由民主党鹿児島県第二選挙区支部長として、喜界島の皆さまとともに地方創生に取り組んでまいります。保岡宏武衆議院議員の奄美地方・喜界島の政策と、国会での取り組みを特集します。

保岡宏武衆議院議員は、自民党所属の国会議員としての任期中、故保岡武久代議士、故保岡興治代議士、故徳田虎雄代議士、徳田毅代議士、金子万寿夫代議士が長年取り組んできた奄美群島振興開発特別措置法(奄美振興特措法)の延長に携わりました。「奄美の力」であった両代議士が取り組んできた政策を、与党の一員としてしっかりと引き継ぎさらに発展させるために、国会の場で奄美の現状と課題を政府に訴える重要な役目を務めています。この任期中も、遠藤利明党総務会長(当時)ら与党国会議員との政策勉強会を奄美で開催したほか、大雨災害ではいち早く被災地を野村農水大臣(当時)や森山奄振委員長と同行視察するなど、奄美と中央とのパイプ役を担い、地元奄美の声を政府に直接届けられる唯一の衆議院議員として活動をしています。保岡議員の思い入れが強い奄振特措法

は、奄美の伝統産業を守り振興開発の道を切り拓くために制定されたものであり、全国の離島振興のモデルケース、ひいては島国日本全体の政策にも影響を与える重要な法律です。奄美特措法成立後、時代の変遷に伴って逐次改正が行われてきましたが、今年の通常国会でもさらに奄美在任者にとって利便性が高い法律となるよう、保岡議員を中心に国会で訴えてきました。その結果、沖縄路線の運賃割引への支援追加や、関係人口の拡大及び移住支援事業に対する支援拡充などを軸とした改正が実現しています。今後も保岡議員は奄美地方在任者の生活を守り抜き、奄美から地方創生を達成するために政策実現に取り組みます。具体的には、今回の特措法改正で明記された沖縄との連携強化を生かした奄美ブランドの国内外発信強化と併せた取組の強化や、アフターコロナで急速に回復しつつある外国人観光客誘客のための

奄美地方で取り組む政策

- 奄美出身者の冠婚葬祭等における 航路・航空路運賃の軽減
- 奄美ブランドの国内外発信強化と 沖縄との連携強化
- 外国人観光客誘客のための Wi-Fi 環境整備や通訳の強化

喜界島で取り組む政策

- 喜界第2地下ダム早期完成の 働きかけによる農業生産性向上
- 航路・航空路・喜界バスの 維持と利便性向上
- 医療機関・特別診療の継続など 医療体制の確保、島外出産の助成拡充
- サトウキビ産業や和牛子牛生産者など、 持続可能な島の農業の環境整備

保岡宏武が取り組む奄美・喜界島の政策(抜粋)

Wi-Fi環境整備や通訳士整備を与党内で共通認識となるよう働きかけます。さらに、奄美出身者の冠婚葬祭等における航路・航空路運賃の軽減など、奄振特措法の拡充も引き続き与党内で理解をいただけるよう訴えてまいります。

最新線 保岡宏武が取り組む 喜界島の政策

喜界島の水資源確保は長年の課題となっています。建設資材費・人件費の高騰や建設業界人材確保が全国的に大きな課題となるなか、島民の生活に直結する喜界第2地下ダム早期完成の働きかけを国県市連携のもと政府に訴え続け、島民の農業生産性を必ず向上させます。航路・航空路・喜界バスといった生活の足である交通インフラの維持は、離島在任者にとって大きな生命線です。特に離島の航路・航空路の維持は全国の離島でも同様の課題を抱えており、自民党内の選挙区内に離島を抱える国会議員同士で情報連携をしながら、離島在任者の生活を守る交通施策補助を要望してまいります。



台風10号被害状況視察(喜界町)



奄美群島農業農村整備事業推進協議会から要望受け

長寿健康で安心して喜界島で暮らしていくためには、持続可能な離島診療の実現が必要で、そのためには医療機関や特別診療など医療体制の確保も重要です。また、産婦人科がない喜界島では島外出産への助成がなされていますが、配偶者や連れ添いの方へのサポート体制への目配せも必要と考えます。奄美保険医療圏全体の視点と、患者やその家族、医療従事者一人一人の両方の視点に立った離島医療政策のあり方を訴えていきます。喜界島の主要産業のひとつである畜産業・農業を守ることも、政府与党の極めて大切な使命です。輸送や飼料のコストが増加し続けるなか、和子牛生産者に対する支援事業が十分に足りているのか、補助金額が十分なのか、継続的に評価していく必要があります。また、喜界島牛ブランドの認知度向上や販路拡大にも取り組むほか、白ゴマや南国果物などの特産品も、島育ちのストーリーと魅力を訴えるPRを本土や大規模消費地・外国向けに積極的に行います。基幹産業であるサトウキビ産業の単価死守と輸送事業などへの支援も訴えてまいります。

石破新総裁誕生

9月27日、自民党総裁選挙が党本部で行われ石破茂元幹事長が新総裁に選ばれました。地方創生を掲げる石破茂候補は鹿児島県でも人気が高く都市型の政治から地方に目を向けた政治へ転換が期待されます。保岡宏武衆議院議員は石破茂総裁候補の推薦人の一人として石破総裁の誕生に大きく貢献しました。



石破茂新総裁は今年で67歳。衆議院鳥取1区選出の当選12回で、これまで防衛庁長官、防衛大臣、農林水産大臣、地方創生担当大臣を務めたほか、党幹事長も務めるなど豊富な経歴で多くの支持を得てきました。

9月7日には鹿児島市内で講演し、毎年1回以上は鹿児島県に訪れていることや県が抱える現状に触れながら、地方創生への決意を述べました。また、政治とカネの問題についても「政治家の言うことは信用できない」という国民の声を払拭するのが政治改革だ」と持論を述べました。

保岡宏武衆議院議員は石破総裁候補の推薦人20名に加わり、総裁選全般で石破候補を支援し、全国遊説にも総裁選対策メンバーとして関わりました。

保岡議員は石破新総裁の誕生に際し「鹿児島2区は鹿児島・南薩・奄美と、まさに地方創生が必要な地域であり、地方創生を掲げ続けている石破さんを総裁候補として応援してきた。国会議員として初めての総裁選で、石破新総裁への多くの期待の声を感じた。石破新総裁と密接に連携できる関係ができたので、これからより一層、鹿児島の地方創生を強力に訴えていきたい」とコメントしました。

活動報告

保岡宏武衆議院議員は、東京と鹿児島を毎週往復して精力的に活動しています。保岡議員の東京での活動の一部を写真でお伝えします。



渋谷・鹿児島おはら祭りに参加



衆議院農林水産委員会で質問



与論町から国会見学に来た児童達と交流



党勢拡大に貢献(党員獲得28位)し、党本部で表彰



森山裕自民党幹事長と共に戦います

「みんなの笑顔、明るい未来へ。やり抜きます。やすおか宏武です。」

衆議院議員やすおか宏武事務所

奄美事務所
〒894-0027
奄美市名瀬末広町2-6-1 F 荒垣ビル
TEL 0997-57-1178
FAX 0997-57-1179

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館815号室
TEL 03-3508-7633
FAX 03-3508-3263



奄美の力。

衆議院議員保岡宏武プロフィール 1973年5月6日生まれ、家族は妻と男の子4人。奄美小、池田中、錦江湾高、青山学院大学法学部卒業、鹿児島大大学院修了(焼酎学修士)。2021年衆議院総選挙初当選、現在自民党鹿児島2区支部長。奄美振興特別委員会幹事。